

# がん化学療法指示書

登録番号 277

作成日 2021/3/10

レジメン名	エンコラフェニブ+Cmab療法 (2コース目以降)
診療科・対象疾患	(外)がん化学療法後増悪のBRAF遺伝子変異を有 す治癒切除不能進行・再発結腸癌/再発直腸癌
投与間隔	1週毎
投与サイクル数	PDIになるまで

## Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
アービタックス	セツキシマブ	250mg/m <sup>2</sup>	Day1
ピラフトビ	エンコラフェニブ	300mg/day	Day1～(連日)

	滴下 順	抗癌 剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール							
							day1	...	...	...	...	...	day7	
治療 内容	注射	Rp1	生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ	●							
		Rp2	生理食塩液	100mL	15分	点滴静注メイン	●							
			ボラミン注	1管										
			デキサート注(6.6mg)	1瓶										
		Rp3	癌	アービタックス(セツキシマブ)	250mg/m <sup>2</sup>	60分	点滴静注メイン	●						
				生理食塩液	250mL									
				総量250mLにする										
		Rp4		生理食塩液	100mL	60分	経過観察	●						
	内服	ピラフトビ(エンコラフェニブ):300mg/日 1回/日 内服												
その他 必要薬剤														
総投与時間	2時間15分													
血管外漏出 リスク	アービタックス(セツキシマブ):非炎症性抗がん剤													
投与時の 注意事項	<p>※アービタックス(セツキシマブ)は初回は400mg/m<sup>2</sup>を2時間かけて、2回目以降は250mg/m<sup>2</sup>を1時間かけて投与する。</p> <p>アービタックス(セツキシマブ)を休薬又は中止した場合には、ピラフトビ(エンコラフェニブ)も休薬又は中止する。</p>													
備考欄	Infusion Reactionを軽減させるため、アービタックス(セツキシマブ)投与前に抗ヒスタミン剤及び副腎皮質ホルモン剤を投与する。													